令和4・5年度 大島地区研究協力校「道徳教育」

令和6年2月6日(火)

天城町立天城小学校 公開研究会

研究主題

自他を尊重し、よりよく生きようとする児童を育む道徳科の推進

~「考え,議論する道徳」の充実を通して~

I 研究の全体構想

学校教育目標

自ら学ぶ意欲とユイの心をもち,気力あふれる天小っ子の育成

道徳教育目標

学校の全教育活動を通して,よりよい生き方を目指す道徳的な判断力,心情,実践意欲と態度を育てる。

目指す児童の姿

- ☆ 自分の考え(意見)を自信をもって表現することができる。(R4)
- ☆ 相手の意見を尊重し、自分の考えを振り返ることができる。(R4)
- ☆ 自分や友達のことを大切にすることができる。(R5)
- ☆ 自分自身の生き方を見つめていくことができる。(R5)
- ☆ 自分はどうすべきか,自分に何ができるかを判断することができる。(R5).・

Ⅱ 研究の視点と内容

視点 | 児童がより自分の考えを広げ、深めることができる 交流の在り方

- (1) 自分の考え(根拠)をもつための手立ての工夫
- (2) 交流目的の明確化
- (3) 交流形態の工夫
- (4) 問い返し・切り返しの発問の工夫

視点2 児童の道徳的価値の高まりが分かる板書の在り方

- (1) 視覚化を図った板書の工夫
- (2) 構造的な板書の工夫

視点3 児童の道徳的実践意欲を高める評価の在り方

- (I) 道徳コーナーでの意欲喚起
- (2) 評価シートの活用

自他を尊重し、よりよく生きようとする児童を育む道徳科の推進

~ 「考え、議論する道徳」の充実を通して~

Ⅲ 研究の実際

視点 | 児童がより自分の考えを広げ、深めること ができる交流の在り方

ネームプレート等で自分の 考えや根拠を明確にした上で 児童同士の交流をさせた。特 🔊 に、3人組での交流を「どう ぞ発表」とし、積極的に取り 入れることで,児童が楽しみ



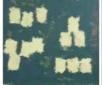
【どうぞ発表の様子】

ながら互いの意見を交流するようになった。交流 させる際は、「自分と違う考えを見付ける」、「考え を広げる」など交流の目的を明確にした。また, 更に児童の考えを広げ、深めるために、問い返し 等の発問の工夫をした。今年度は, 児童に「交流 で使うとよい言葉」を配布したり、画面に提示し たりして, 児童同士の交流の活性化を図った。

視点2 児童の道徳的価値の高まりが分かる 板書の在り方

板書の視覚化・構造化を図ることで、児童の思 考を整理し、より自分の考えを広げたり深めたり できるようにした。また, 中心発問の後に価値を 高める発問をし、それを板書することで道徳的価 値の高まりを感じられるようにした。





【児童の考えを可視化するための十 【ジグソー活動へとつな 字チャート(ネームプレート使用)】 るための考えの類型化】

視点3 児童の道徳的実践意欲を高める 評価の在り方

道徳コーナーを設け、主 題・挿絵・児童の道徳日記 (振り返り)を掲示した。 友達がどのように考えを深め ていたのかなどに気付き, 児 童自身がより一層考えを深め たり、前回の内容を振り返っ



【道徳コーナー】

て様々な角度から考えを深めたりすることができ

評価シートは一人一枚作成し、書き込んでいく ことで、一定の時間的なまとまりの中で成長を把 握できるようにした。道徳教育の一環として、生 活場面での変容について記入できる欄も設けた。

IV 公開研究会の様子

全体会 I·Ⅱ





公開授業





分科会







公開研究会後のアンケートより

- ・ 児童に寄り添った授業でした。また、問い返しの仕方や グループ内での「発表→問い返し→理由」の発表の仕方が 定着していて思考の深まりや広がりにとても効果的だった と思います。
- 一人一人が考えをもち、「どうぞ発表」において、それ を伝え合う姿を見ることができました。
- 児童の積極的な発言や活発な意見交換が見られました。 板書も見やすく, 児童も学習の流れなどが理解しやすかっ たのではないかと思います。。
- 児童が自分の意見を伝えたり、可視化したり、変容を感 じたりするためにどうしたらよいか, 板書やグループ構成 など多くの視点で考えられていました。どのような方法が あるのか、自分の学校でも共有したいと思いました。
- 誰かが発表する際に、頷きや「同じ」などの声が聞こえ てきました。また,自分自身の意見を堂々と言い,友達に 伝えることができていました。